

(7枚のうち第1枚目)

平成31年度 福井大学 国際地域学部
入学者選抜学力検査問題 (後期日程)

小 論 文

国際地域学科

注意事項

- 1 この問題用紙は「解答始め」の合図があるまで開かないこと。
- 2 「解答始め」の合図の後、解答を始める前に、解答用紙4枚の所定の欄すべてに受験番号を記入すること。
- 3 解答は解答用紙の所定の解答欄に記入すること。
- 4 解答用紙にはマス目が入っている。句読点は1マス使用するなど原稿用紙の慣用的な書き方に従い、横書きで記入すること。
- 5 解答の下書きには別配布する白紙を使用すること。
- 6 試験終了後、解答用紙4枚を回収する。この問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってもよい。

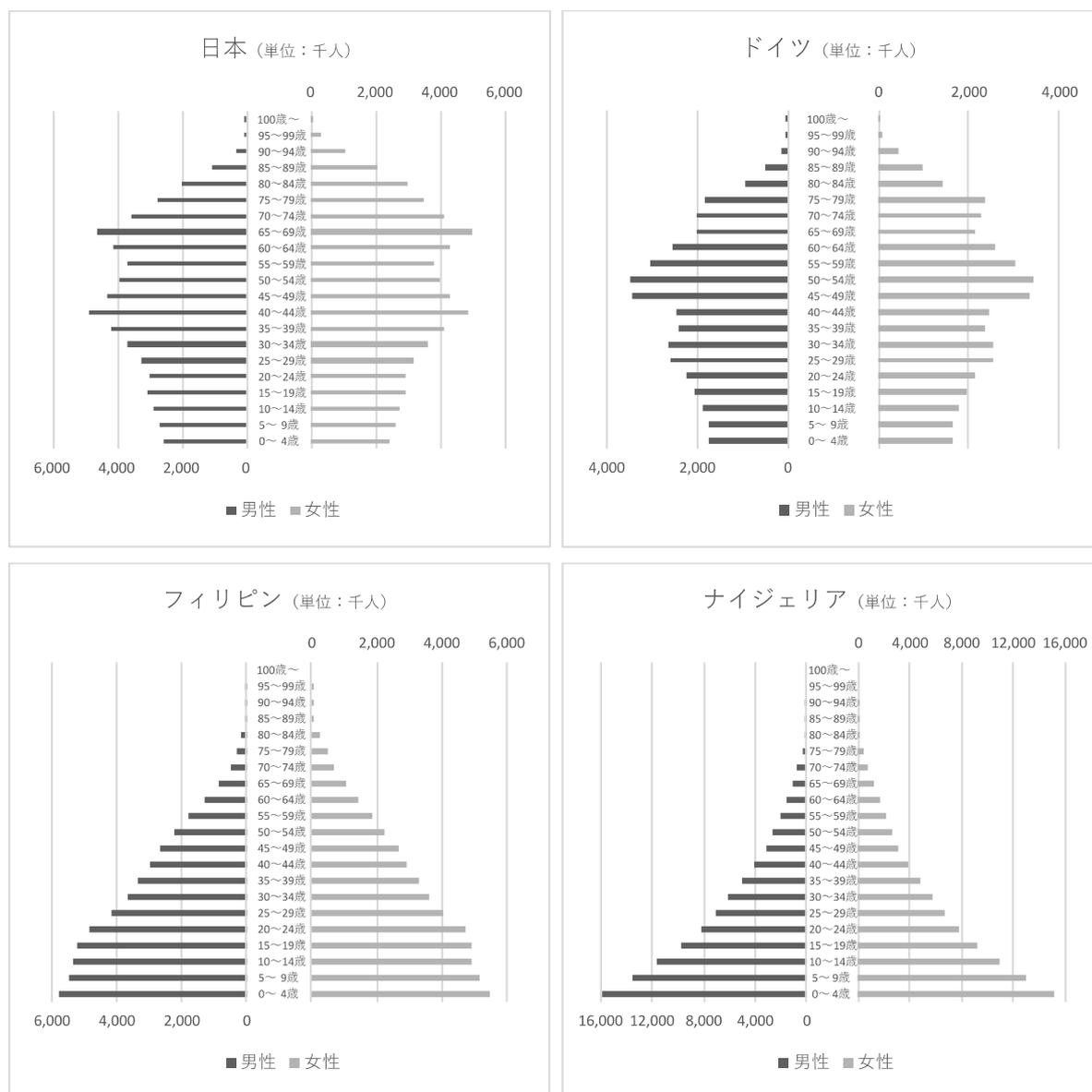
平成 31 年度 福井大学 国際地域学部 入学者選抜学力検査問題（後期日程）
小論文（国際地域学科）問題用紙

（7 枚のうち第2枚目）

（この頁は空白）

問 1

図表 1 と図表 2 は、2015 年の各国の年齢階級別人口ピラミッドと世界の人口・年齢構成の推移を表したものである。これらの図表を見て、後の設問 1 と設問 2 に答えなさい。



図表 1 2015 年時点の各国の年齢階級別人口ピラミッド（単位千人）
 （総務省統計局「世界の統計 2017」より作成）

平成 31 年度 福井大学 国際地域学部 入学者選抜学力検査問題（後期日程）
小論文（国際地域学科）問題用紙

（7 枚のうち第4枚目）

年次	総人口		年平均 増減 (%)	従属人口(%)		中位 年齢 (歳)	総人口		年平均 増減 (%)	従属人口(%)		中位 年齢 (歳)
	(1,000人)	女性 (%)		15歳 未満	65歳 以上		(1,000人)	女性 (%)		15歳 未満	65歳 以上	
	世界						先進国					
1950	2,525,149	50.1	...	34.3	5.1	23.5	812,989	52.3	...	27.4	7.7	28.5
1960	3,018,344	50.0	1.8	37.1	5.0	22.6	914,951	52.0	1.2	28.2	8.5	29.5
1970	3,682,488	49.9	2.0	37.6	5.3	21.5	1,007,682	51.7	1.0	25.9	9.9	30.6
1980	4,439,632	49.8	1.9	35.4	5.8	22.5	1,081,844	51.6	0.7	22.5	11.7	31.9
1990	5,309,668	49.7	1.8	32.9	6.1	24.0	1,144,463	51.5	0.6	20.5	12.5	34.4
2000	6,126,622	49.7	1.4	30.2	6.8	26.3	1,188,812	51.4	0.4	18.2	14.3	37.3
2010	6,929,725	49.6	1.2	26.7	7.6	28.5	1,233,376	51.4	0.4	16.4	16.1	40.0
2020	7,758,157	49.6	1.1	25.5	9.3	30.9	1,266,360	51.3	0.3	16.4	19.4	42.2
2030	8,500,766	49.6	0.9	23.6	11.7	33.1	1,283,920	51.2	0.1	15.9	23.0	44.1
2040	9,157,234	49.7	0.7	22.1	14.2	34.6	1,287,935	51.1	0.0	15.4	25.2	45.4
2050	9,725,148	49.7	0.6	21.3	16.0	36.1	1,286,422	51.0	0.0	15.7	26.5	45.1
	開発途上国						日本					
1950	1,712,161	49.0	...	37.6	3.8	21.4	84,115	51.0	...	35.4	4.9	22.2
1960	2,103,393	49.2	2.1	41.0	3.5	20.0	94,302	50.9	1.1	30.2	5.7	25.6
1970	2,674,806	49.2	2.4	42.0	3.5	18.8	104,665	50.9	1.0	24.0	7.1	29.0
1980	3,357,789	49.2	2.3	39.6	4.0	19.9	117,060	50.8	1.1	23.5	9.1	32.5
1990	4,165,205	49.2	2.2	36.3	4.3	21.7	123,611	50.9	0.5	18.2	12.1	37.7
2000	4,937,810	49.2	1.7	33.0	5.0	24.0	126,926	51.1	0.3	14.6	17.4	41.5
2010	5,696,349	49.2	1.4	28.9	5.8	26.4	128,057	51.3	0.1	13.2	23.0	45.0
2020	6,491,797	49.2	1.3	27.2	7.4	29.1	124,100	51.5	-0.3	11.7	29.1	48.9
2030	7,216,847	49.3	1.1	25.0	9.7	31.3	116,618	51.8	-0.6	10.3	31.6	52.7
2040	7,869,299	49.4	0.9	23.2	12.4	33.2	107,276	51.9	-0.8	10.0	36.1	54.9
2050	8,438,726	49.5	0.7	22.2	14.4	34.9	97,076	51.9	-1.0	9.7	38.8	56.0

図表 2 世界の人口・年齢構成の推移（1950～2050）＊2020 年以降は推計

注) 従属人口とは、15 歳未満の年少人口と 65 歳以上の老年人口を合計した人口。従属人口以外の人口は生産年齢人口。

中位年齢とは、人口を年齢順に並べ、その中央で全人口を 2 等分する境界点にある年齢。

（総務省統計局「世界の統計 2017」より作成）

設問 1

図表 1 と図表 2 から読み取れることを 300 字程度でまとめなさい。

設問 2

図表 1 と図表 2 を参考に、人口・年齢構成の変化が将来の日本の社会にもたらすと予想される課題について、経済や生活の観点からあなたの考えを 450 字程度で述べなさい。

問 2

次の文章を読み、後の設問 1 と設問 2 に答えなさい。

著作権の関係上、この部分は公開していません。

著作権の関係上、この部分は公開しておりません。

著作権の関係上、この部分は公開していません。

（赤坂憲雄『ゴジラとナウシカ—海の彼方より訪れしものたち—』より）

（注 1）『ゴジラ』…1954 年作。本多猪四郎監督，円谷英二特撮監督による映画。ビキニ環礁近くに太古より眠る生物が水爆実験の放射能で巨大化し，日本を襲うという内容。怪獣映画流行の先駆けとなった。

（注 2）『風の谷のナウシカ』…1984 年作。同名の漫画を原作にした宮崎駿監督によるアニメーション映画。「火の七日間」と呼ばれる最終戦争により文明は崩壊し，^{きゅうむし}土蟲などの巨大な虫に守られた「腐海」と呼ばれる有毒の^{しゅうき}瘴気を発する森に世界は覆われている。辺境に位置する「風の谷」に住む少女ナウシカは，新たな人類の戦いに巻き込まれるが，最終的に故郷「風の谷」を守ることに成功する。

（注 3）カタストロフィ…大災害，大惨事。

設問 1

ヒロシマ・ナガサキ，ビキニ環礁，そしてフクシマという現実に『ゴジラ』と『風の谷のナウシカ』というフィクションを筆者はどのように重ね合わせて述べていますか。本文にそくして 400 字程度でまとめなさい。

設問 2

本文の内容を踏まえ，現代社会が抱える諸問題（災害，戦争，環境破壊など）に基づいて創作された小説，映画，テレビ，漫画などの作品の例を挙げ，それに対するあなたの考えを 400 字程度で述べなさい。

